

令和5年度白馬村木質バイオマス活用事業報告

白馬村では、木質バイオマス（再生可能な木質由来の有機性資源）の普及啓発のために、支障木や適正処理したナラ枯れくん蒸材を村民へ配布し、エネルギー地産地消、地域循環を目指す事業に取り組んでいます。近年、白馬村ではナラ枯れが大発生し、たくさんのナラが枯れてしまいました。ナラ枯れは、自然サイクルで周期的に発生する木の病気で、江戸時代からあると言われていています。今年度は、地域の木材を知ってもらいたいという思いで、ナラ枯れ被害にあった木材を使い、マウスパッドを作成しました。

1. 事業目的

伐採した支障木、ナラ枯れくん蒸材（2週間くん蒸、1ヶ月雨ざらし）を薪や加工品として有効利用することにより、再生可能エネルギー活用、エネルギー地産地消、地域材活用に繋げる。

2. 伐採木配布事業

(1) 概要

木質バイオマス活用普及啓発のために、集落支援業務で村有地等から発生した支障木やナラ枯れくん蒸材（2週間くん蒸、1ヶ月雨晒し）を村民へ配布した。

(2) 実施日及び配布場所

No.	日時	場所	備考
1	R5. 6. 12 (月) 7:00-8:10	野平サッカー場付近	支障木
2	R5. 10. 15 (木) 7:00-8:45	岩岳遊歩道サテライト塔付近	ナラ枯れくん蒸材
3	R5. 11. 21 (火) 8:00-10:00	〃	〃

(3) 費用効果（概算）

No.	灯油単価 (円) a	軽トラ 単価 (円) b	配布量 (kg) c	軽トラ (台) d	灯油換算 (円) a×c	原木換算 (円) b×d	備考 (軽トラ台数・原木樹種)
1	143	20,000	10,500	30	1,501,500	600,000	軽トラ 350kg×30台=10,500kg (10.5t)、 広葉樹（ナラ、サクラ等）、針葉樹（スギ）
2	130	20,000	6,300	18	819,000	360,000	軽トラ 350kg×18台=6,300kg (6.3t) 広葉樹（ナラ枯れくん蒸材）
3	143	20,000	6,300	18	900,900	360,000	軽トラ 350kg×18台=6,300kg (6.3t) 広葉樹（ナラ枯れくん蒸材）
計	-	20,000	23,100	66	3,221,400	1,320,000	軽トラ 66台 来場者 66台×2人=132人

*灯油は18L（約14kg）をkg当たり単価換算し算出

*協力金（軽トラ1台500～1,000円）28,500円

(4) 事業効果

伐採した支障木、ナラ枯れくん蒸材を、薪として有効利用することにより、エネルギー地産地消、地域循環、森林景観形成、住民の薪購入費用の削減に繋がった。

6/12 野平 (支障木)

10/15 岩岳遊歩道サテライト塔付近 (ナラ枯れくん蒸材)



11/21 岩岳遊歩道サテライト塔付近 (ナラ枯れくん蒸材)



2. ナラ枯れ材製材マウスパッド加工事業

(1) 概要

ナラ枯れ被害木活用のため、長野県林務課の協力のもと、マウスパッドを作成し、関係機関に配布した。

(2) 内容

No.	日時	場所	内容
1	R5. 11. 13 (月)	岩岳遊歩道サテライト塔付近 小谷村大糸木材	運搬 製材
2	R5. 11. 17 (金)	長野県林業総合センター	人工乾燥
3	R6. 1. 10 (水)	〃	製材、マウスパッド加工
4	R6. 1. 31 (水)	白馬村役場	庁内周知
5	R6. 2. 15 (木)	白馬南小・北小・中学校へ配布	マウスパッド配布
6	R6. 2. 16 (金)～	村民へ配布	〃

運搬



加工



学校へ配布



マウスパッド



ナラ枯れマウスパッドを作成する際の人工乾燥によって、木材内部まで殺虫済みです。また、薬剤等は使用しておりませんので安全に使用できます。

○ナラ枯れについて

ナラ枯れとは、「カシノナガキクイムシ」という昆虫が、ミズナラなどのブナ科の植物に入り、ナラ菌という菌類を樹木に植え付けることで、水や栄養分が木全体に行き渡らなくなり、木が枯れてしまう現象です。ナラ枯れになると、木の幹からフラス(フンや木くず)が発生し、最終的には木が倒れてしまうことで、人や家などに被害を与える危険性があります。また、茶色く枯れた木の葉が白馬村の美しい景観に悪影響を与えています



○林業について

森林は、国土の保全、水源を守ること、地球温暖化防止、木材の生産などの様々な機能がある大切な資源です。SDGsの達成に向けて、林業に関わる人に加えて、様々な企業や個人が森林に関わっていくことが大切です。

マウスパッド加工も「木材を様々な用途に無駄なく加工」という点で循環する林業の中の一部に入ります。

